

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	しよばた 勝幡地区																										
事業箇所	つしまし あいさいし 津島市、愛西市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県西部に位置する二級河川日光川、二級河川三宅川及び二級河川目比川に囲まれた津島市と愛西市に跨る流域面積235haの排水を担う農業用排水機場の整備をするものである。地区内の排水については、本地区内の全域がゼロメートル地帯であるため、洪水時以外の通常時においても勝幡排水機場により日光川へ強制排水し、古瀬排水機場により目比川へ強制排水している。</p> <p>しかし、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下や、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加により、排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。このため、排水能力の低下した既設機場を更新し、湛水被害を未然に防止することにより、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、2012年度からたん水防除事業勝幡地区を実施し2019年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 （計画基準雨量 341mm/3日、1/20年確率雨量）</p> <p>【副次目標】 —</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	14.4億円		■工事費 13.7億円、■用補費 0.0億円、■その他 0.7億円																								
事業期間	採択年度	2012年度	着工年度	2013年度	完成年度	2019年度																					
事業内容	排水機場 2か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】 事業完了以降、2020年10月8日～10月10日に最大3日連続雨量182.5mm（最大1時間雨量17.5mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （津島観測所降雨データ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>341.0mm</td> <td>109.5mm</td> <td>182.5mm</td> <td>132.5mm</td> <td>107.5mm</td> <td>138.5mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間降雨量）</td> <td>（53.1mm）</td> <td>（29.0mm）</td> <td>（17.5mm）</td> <td>（31.0mm）</td> <td>（24.5mm）</td> <td>（28.0mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】 最大3日連続雨量及び最大1時間雨量共に計画基準雨量以下であるが、事業完了以降、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2019	2020	2021	2022	2023	最大3日連続降雨量	341.0mm	109.5mm	182.5mm	132.5mm	107.5mm	138.5mm	（最大1時間降雨量）	（53.1mm）	（29.0mm）	（17.5mm）	（31.0mm）	（24.5mm）	（28.0mm）
	区分	計画	2019	2020	2021	2022	2023																				
最大3日連続降雨量	341.0mm	109.5mm	182.5mm	132.5mm	107.5mm	138.5mm																					
（最大1時間降雨量）	（53.1mm）	（29.0mm）	（17.5mm）	（31.0mm）	（24.5mm）	（28.0mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項目		事業評価時 (2011)	実績 (2019)	備考
事業期間		2012~2021 (10年間)	2012~2019 (8年間)	
事業費 (億円)	工事費	21.7	13.7	
	用地補償費	0.1	0.0	
	その他	1.7	0.7	
	合計	23.5	14.4	9.1億円減
効果の 算定要因	流域面積	235.2ha	235.2ha	増減なし
	農地面積	85.1ha	67.8ha	17.3ha減
	宅地等面積	150.1ha	167.4ha	17.3ha増

【事業期間に対する評価】

当初計画されていた建屋の耐震対策を、実施設計時の詳細検討で見直し、対策不要としたことで工期の短縮が可能となった。

【事業費に対する評価】

耐震性能調査の結果、建屋の耐震対策工を無対策とした事、工事費の積算精査及び工事の入札結果（請負差額）等により、事業費が9.1億円減で事業完了できた。

【効果の算定要因に対する評価】

計画時と比較して、流域面積の増減はない。
排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するなど周辺環境に配慮したことから、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

III 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。

同種事業に反映すべき事項

当初計画時の設計内容を実施設計段階で再度精査するなど、施工が過大もしくは過小とならないよう配慮する。

IV 事業評価監視委員会の意見

勝幡地区の対応方針(案) [改善措置等必要なし] を了承する。

V 対応方針

改善措置等必要なし。